

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業422社を対象に実施し、312社より回答があり、その結果をまとめたものである。□

企業の調査資料として、平成21年7月～9月の実績、平成21年10月～12月の見込み、平成22年1月～3月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成21年9月下旬

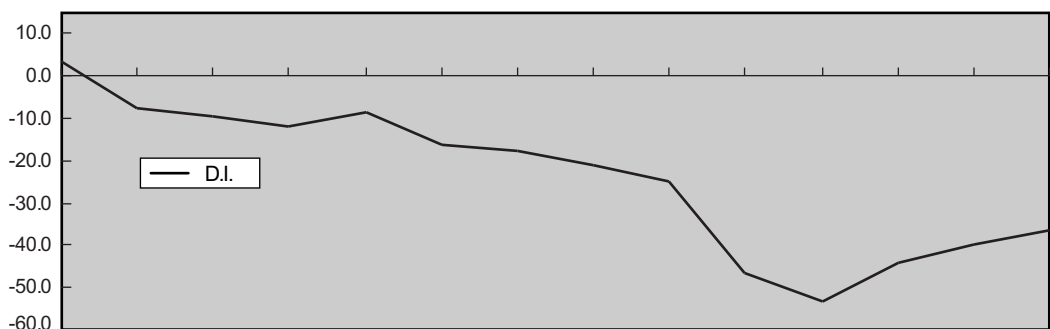
	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	199□	142□	71.4%□
非 製 造 業	233□	170□	76.2%□
計	422	312	73.9%

日銀が11月16日に公表した、北陸の金融経済月報（2009年11月）によると、「北陸の景気は、依然として厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがある。□最終需要をみると、設備投資は大幅に減少し、住宅投資も減少が続いている。一方、輸出は電気機械を中心に引き続き増加しており、個人消費も、全体としては弱い状況にあるが、一部には政策効果から持ち直しの動きが続いている。また、公共投資も北陸新幹線工事の大口発注が続いていることなどから、引続き増加している。企業収益は、低水準にあるほか、雇用・所得も引き続き厳しい状況が続いている。先行きは、海外経済の改善や経済対策の効果を受けて、全体として持ち直しの動きが続くとみられる。」と発表している。□

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

期別 種別	（%）													
	18年		19年				20年				21年			
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
良 い	20.9	17.6□	13.4	13.6	14.6	12.6	12.9	8.4	9.4	4.4	3.4	3.6	3.2	4.5
普 通	61.8	57.4□	63.5	61.1	62.3	58.4	56.6	62.2	56.3	44.7	39.8	49.0	53.9	54.5
悪 い	17.2	25.0□	23.0	25.3	23.1	29.0	30.5	29.4	34.4	50.9	56.8	47.4	42.9	41.0
D . I .	3.7	-7.4	-9.6	-11.8	-8.5	-16.4	-17.6	-21.0	-25.0	-46.5	-53.4	-43.9	-39.7	-36.5

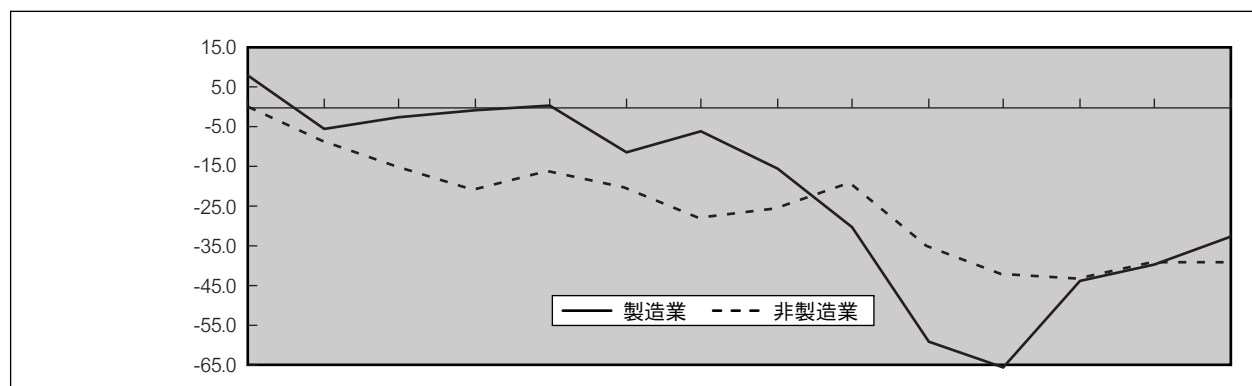


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		（%）															
		18年				19年				20年				21年			
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	22年	
良	い	22.4	18.1	16.7	20.0	19.9	14.6	16.3	10.2	8.4	2.6	0.7	5.7	3.5	7.1		
普	通	62.8	58.5	64.0	58.9	60.8	59.1	61.2	64.1	52.6	35.5	33.1	44.7	53.2	53.2		
悪	い	14.8	23.4	19.4	21.1	19.4	26.3	22.5	25.7	39.0	61.9	66.2	49.6	43.3	39.7		
D . I .		7.7	-5.3	-2.7	-1.1	0.5	-11.7	-6.2	-15.6	-30.5	-59.4	-65.6	-44.0	-39.7	-32.5		

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		（%）															
		18年				19年				20年				21年			
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	22年	
良	い	19.5	17.1	10.5	7.8	9.8	10.8	9.7	6.7	10.2	6.0	5.8	1.8	3.0	2.4		
普	通	61.0	56.5	63.2	63.1	63.7	57.7	52.2	60.6	59.6	52.5	45.7	52.7	54.4	55.6		
悪	い	19.5	26.4	26.3	29.1	26.5	31.4	38.2	32.8	30.1	41.5	48.6	45.6	42.6	42.0		
D . I .		0.0	-9.3	-15.8	-21.4	-16.7	-20.6	-28.5	-26.1	-19.9	-35.5	-42.8	-43.8	-39.6	-39.6		



(1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ても、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の21年7～9月期実績は▲43.9と前期比9.5ポイント改善した。先行きについて、21年10～12月期のD.I.は▲39.7となり、22年1～3月期予想は▲36.5と改善していくと予想した回答となった。D.I.は、21年4～6月期を最低ポイントとして、改善している。□

(2) 業況判断指数D.I.の21年7～9月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より21.6ポイント改善し、▲44.0となった。先行きも改善見込の回答となっている。非製造業については、今期は1.0ポイント悪化し、▲43.8となった。非製造業は、先行きに対して、21年10～12月は▲39.6と改善する予想となっている。22年1～3月期も同ポイントであった。

II. 売上高状況

売上高状況

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	18年				19年				20年				21年				22年
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	1~3月		
増加	36.0	31.6	28.5	26.0	31.5	30.1	26.5	26.0	18.5	11.8	12.7	10.0	8.4	10.3			
横ばい	42.1	40.7	41.7	42.2	40.4	39.2	41.2	40.9	35.4	28.0	24.1	24.9	33.9	47.7			
減少	21.9	27.7	29.8	31.8	28.2	30.7	31.6	33.1	46.1	60.2	63.2	65.0	57.7	41.9			
D. I.	14.1	3.9	-1.2	-5.9	3.3	-0.5	-5.7	-7.1	-27.6	-48.4	-50.5	-55.0	-49.4	-31.6			

売上高状況（うち製造業のみ）

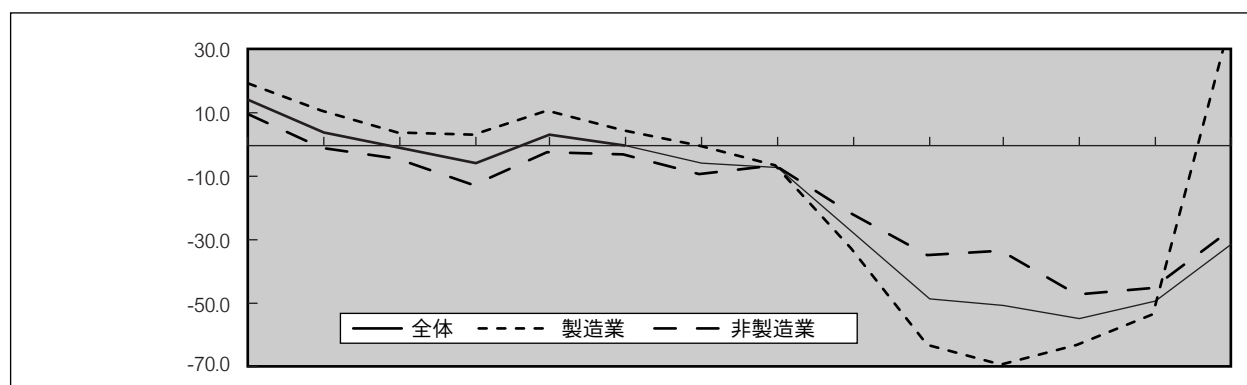
(%) 見込 予測

種別 \ 期別	18年				19年				20年				21年				22年
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	1~3月		
増加	39.9	34.7	31.6	31.0	36.5	34.0	30.6	28.6	17.1	7.8	7.4	7.8	9.2	12.8			
横ばい	39.4	40.5	40.0	40.2	37.1	3.5	37.8	35.7	32.2	20.6	15.4	20.6	27.7	38.3			
減少	20.7	24.8	28.5	28.8	26.3	30.4	31.7	35.7	50.7	71.6	77.2	71.6	63.1	48.9			
D. I.	19.2	10.0	3.2	2.2	10.2	3.5	-1.1	-7.1	-33.6	-63.9	-69.8	-63.8	-53.9	36.2			

売上高状況（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	18年				19年				20年				21年				22年
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	1~3月		
増加	32.4	28.9	25.8	21.4	26.9	26.8	22.8	23.6	19.8	15.2	17.2	11.9	7.7	8.3			
横ばい	44.6	40.8	43.2	43.9	43.3	42.3	44.4	45.6	38.3	34.2	31.6	28.6	39.1	55.6			
減少	23.0	30.3	31.0	34.6	29.8	30.9	32.8	30.8	41.9	50.5	51.1	59.5	53.3	36.1			
D. I.	9.4	-1.4	-5.2	-13.2	-2.9	-4.1	-10.1	-7.1	-22.2	-35.3	-33.9	-47.6	-45.6	-27.8			



- 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、前期より4.5ポイント悪化し▲55.0となり、最低ポイントの更新となった。先行きについては、改善予想となっており、D.I.は▲49.4との回答であった。また、22年1~3月期予測は▲31.6であり、更に改善の予想となっている。
- 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、前期比製造業は改善、非製造業は悪化の回答であった。また、先行きについては、製造業、非製造業とも改善予想となっている。

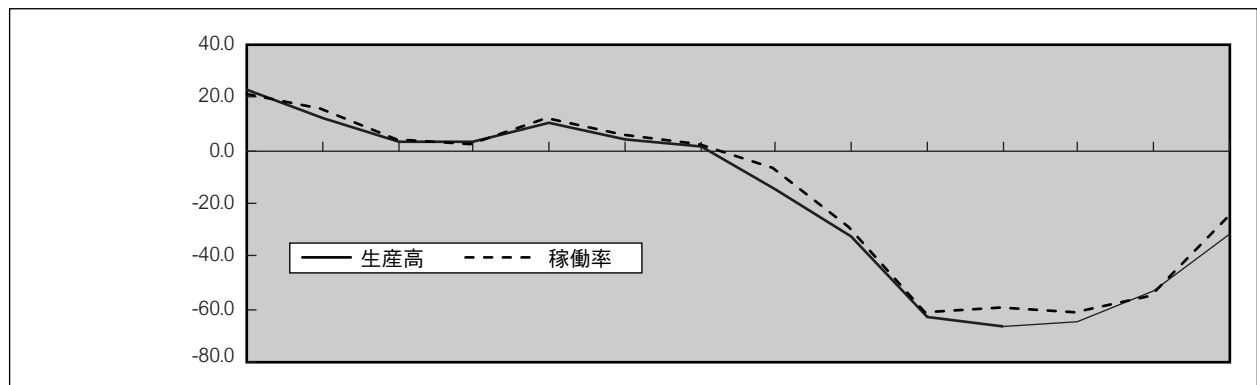
Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

期別 種別	（%）														見込	予測
	18年	19年				20年				21年				22年		
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月		
20%以上増加	8.4	6.5	4.4	8.1	7.9	4.4	5.9	1.8	1.9	1.3	0.7	0.0	0.7	5.0		
20%未満増加	31.6	27.2	26.4	21.4	27.5	28.8	24.1	21.2	14.6	5.9	5.2	7.1	7.8	7.8		
横ばい状況	42.6	45.1	41.8	43.9	39.9	38.1	41.2	39.4	34.8	22.9	21.6	20.6	29.8	42.6		
20%未満減少	17.4	19.0	24.2	23.1	21.3	25.6	26.5	30.3	35.4	33.3	32.7	36.2	34.0	29.1		
20%以上減少	0.0	2.2	3.3	3.5	3.4	3.1	2.4	7.3	13.3	36.6	39.9	36.2	27.7	15.6		
D . I .	22.6	12.5	3.3	2.9	10.7	4.4	1.2	-14.5	-32.3	-62.7	-66.7	-65.2	-53.2	-31.9		

稼働率（製造業のみ）

期別 種別	（%）														見込	予測
	18年	19年				20年				21年				22年		
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月		
上昇	5.9	5.1	5.6	5.9	6.9	4.6	7.2	2.6	1.9	0.7	0.7	0.0	1.5	5.2		
やや上昇	31.2	28.2	20.8	18.9	25.3	27.8	21.7	19.9	13.5	5.4	6.6	8.1	5.2	8.9		
横ばい	46.2	48.6	50.6	52.1	47.1	40.4	43.4	47.4	39.1	26.2	25.0	21.3	31.1	45.2		
やや下降	16.7	16.9	20.8	18.3	17.8	23.8	25.3	24.4	30.1	30.2	22.4	33.1	32.6	23.0		
下降	0.0	1.1	2.2	4.7	2.9	3.3	2.4	5.8	15.4	37.6	45.4	37.5	29.6	17.8		
D . I .	20.4	15.3	3.4	1.8	11.5	5.3	1.2	-7.7	-30.1	-61.7	-60.5	-62.5	-55.6	-26.7		

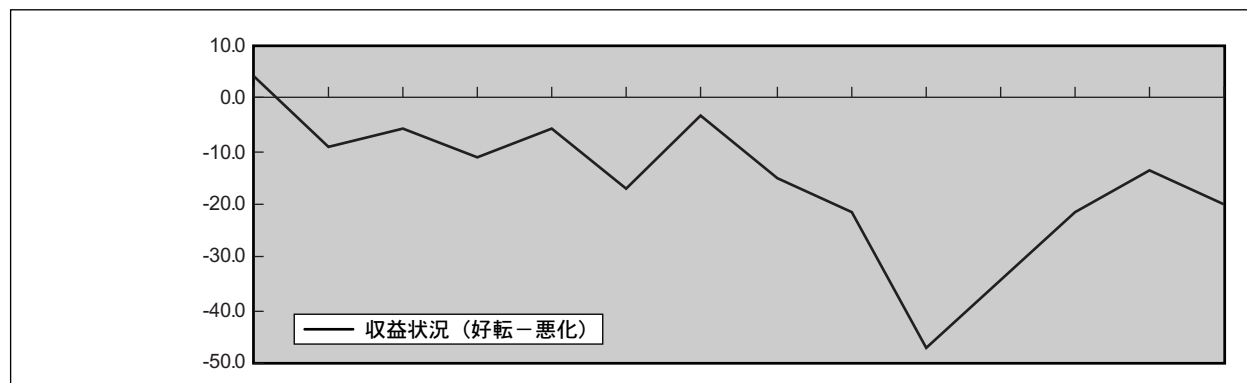


- (1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.Iは、前期比1.5ポイント改善し▲65.2となった。先行きについても、21年10～12月期は改善する予想となっている。□
- (2) 稼働率状況D.Iは、前期比やや悪化の回答となった。先行きについては、改善見込となっている。稼働率は今期が最低ポイントの底とみられる。在庫調整も進み、稼働率は今後、回復に向かっているとみえる。

IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

期別 種別	18年	19年				20年				21年				見込	予測
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	22年
好転	23.2	19.2	16.6	12.4	18.5	16.1	20.1	12.7	12.7	5.6	11.1	13.5	12.5	8.4	
横ばい	57.7	52.5	61.3	63.9	57.5	50.8	56.5	59.5	52.8	41.9	43.5	51.4	61.1	63.3	
悪化	19.1	28.4	22.1	23.7	24.1	33.1	23.4	27.7	34.5	52.5	45.4	35.0	26.4	28.3	
D.I.	4.2	-9.2	-5.5	-11.3	-5.6	-16.9	-3.3	-15.0	-21.7	-46.9	-34.3	-21.5	-13.8	-19.9	



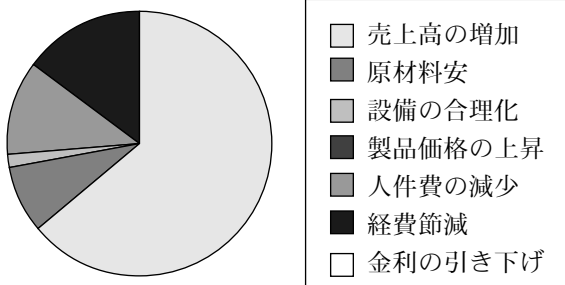
好転理由

期別 種別	18年	19年				20年				21年				見込	予測
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	22年
売上高の増加	61.5	69.4	61.4	66.2	64.4	58.9	57.0	65.1	64.3	52.5	49.2	63.9	52.6	50.8	
原材料安	4.9	3.1	1.1	1.5	2.3	2.2	0.9	4.8	14.3	12.5	6.6	8.2	3.5	0.0	
設備の合理化	2.5	4.1	4.5	3.1	2.3	2.2	1.9	0.0	1.8	5.0	6.6	1.6	0.0	0.0	
製品価格の上昇	10.7	6.1	6.8	7.7	6.9	14.4	17.8	11.1	5.4	0.0	1.6	0.0	3.5	3.4	
人件費の減少	5.7	6.1	3.4	3.1	6.9	5.6	6.5	3.2	1.8	12.5	18.0	11.5	12.3	6.8	
経費節減	14.8	11.2	21.6	16.9	16.1	13.3	15.9	12.7	12.5	17.5	6.4	14.8	28.1	39.0	
金利の引き下げ	0.0	0.0	1.1	1.5	1.1	3.3	0.0	3.2	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	

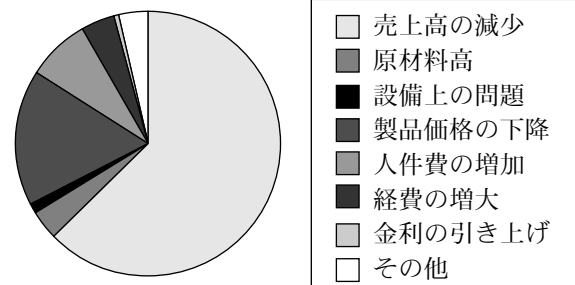
悪化理由

期別 種別	18年	19年				20年				21年				見込	予測
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	22年
売上高の減少	40.7	55.7	47.2	17.6	48.0	53.0	46.2	43.3	60.6	68.6	64.9	62.7	57.3	62.6	
原材料高	20.3	18.4	25.0	21.0	26.3	29.2	31.7	30.4	14.3	6.3	4.8	3.6	4.8	4.6	
設備上の問題	2.5	0.0	1.4	2.1	1.3	0.0	0.0	1.8	0.0	0.8	1.0	1.2	1.6	2.3	
製品価格の下降	8.5	5.1	6.9	11.9	5.3	4.8	4.8	8.2	11.4	12.5	18.3	16.6	21.8	13.7	
経費の増大	10.2	7.0	10.4	10.5	11.8	5.4	9.0	9.4	6.9	5.1	5.3	7.7	6.5	7.6	
人件費の増加	8.5	6.3	2.8	4.2	5.3	5.4	4.8	4.1	4.0	4.7	4.8	4.1	4.0	3.8	
金利の引き上げ	1.7	2.5	2.8	0.0	0.0	0.6	1.4	0.6	0.0	0.4	0.5	0.6	0.0	0.0	
その他	7.6	5.1	3.5	2.8	2.0	1.8	2.1	2.3	2.9	1.6	0.5	3.6	4.0	5.3	

好転理由



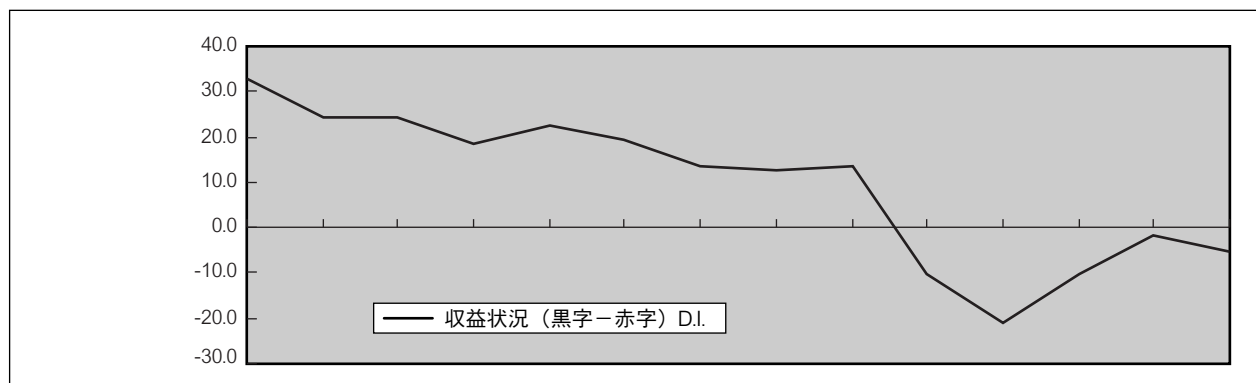
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は前期比12.8ポイント改善し、▲21.5となった。収益状況は21年1～3月期を底に改善してきている。先行きでも、10～12月期▲13.8と改善する予想となっている。
- (2) 今期収益が好転した理由は、「売上高の増加」とするポイントが大幅増加し、63.9となった。「経費の節減」「原材料安」を理由とするポイントも高く、「人件費の減少」は低下した。先行きについても、「売上高の増加」「経費節減」とする理由が高いポイントとなっている。
- (3) 収益が悪化した理由は、「売上高の減少」「製品価格の下降」が今期も高いポイントとなっている。「売上高の減少」を理由とするポイントは減少してきている。「製品価格の下降」理由は今期やや減少したものの、まだ依然高いポイントである。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	期別														見込		予測
	18年	19年				20年				21年				22年			
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月			
黒字	48.5	43.5	43.0	38.3	41.9	39.1	34.7	34.3	36.6	25.0	19.0	23.5	23.9	21.6			
収支トントン	35.7	37.3	38.4	41.9	38.6	41.3	44.1	44.1	40.4	39.6	41.1	42.6	50.6	51.6			
償却後赤字	15.8	19.3	18.6	19.8	19.5	19.7	21.2	21.6	23.0	35.4	39.9	33.9	25.5	26.8			
D.I.	32.8	24.3	24.4	18.5	22.4	19.4	13.5	12.7	13.6	-10.4	-20.9	-10.3	-1.6	-5.2			



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、前期比10.6ポイントト改善し▲10.3となった。前期は▲20.9と最低ポイントであった。先行きについては、10～12月期は▲1.6と改善予想となっている。22年1～3月期予測でも、▲5.2であるが、今期より改善予想である。収益状況も厳しい状況であったが、底をうち改善されていくと予想している。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

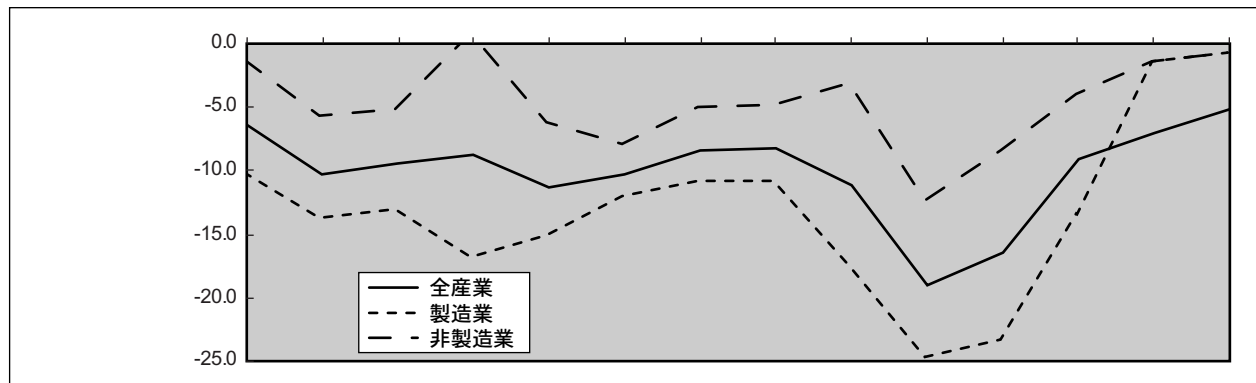
期別 種別	製品在庫水準 (%)														見込	予測
	18年	19年				20年				21年				22年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
不足	3.6	2.4	2.8	4.4	1.6	1.7	2.7	3.3	1.5	1.5	2.2	3.5	2.3	3.5		
適正	86.4	84.9	84.9	82.6	85.5	86.3	86.2	85.1	86.0	78.0	79.2	84.0	88.3	87.8		
過剰	10.0	12.7	12.3	13.1	12.9	11.9	11.1	11.6	12.5	20.5	18.6	12.5	9.4	8.6		
D.I.	-6.4	-10.3	-9.5	-8.7	-11.3	-10.2	-8.4	-8.3	-11.1	-19.0	-16.4	-9.0	-7.0	-5.1		

製品在庫水準 (うち製造業のみ)

期別 種別	製品在庫水準 (%)														見込	予測
	18年	19年				20年				21年				22年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
不足	3.7	1.1	2.3	2.3	1.1	1.3	1.2	2.6	1.4	0.7	2.1	4.5	2.4	4.1		
適正	82.4	83.9	82.3	78.5	82.4	85.3	86.6	84.0	79.7	73.8	72.4	77.4	93.5	91.1		
過剰	13.9	15.0	15.4	19.2	16.5	13.5	12.2	13.5	18.9	25.5	25.5	18.0	4.1	4.9		
D.I.	-10.2	-13.9	-13.1	-16.9	-15.3	-12.2	-11.0	-10.9	-17.6	-24.8	-23.4	-13.5	-1.6	-0.8		

製品在庫水準 (うち非製造業のみ)

期別 種別	製品在庫水準 (%)														見込	予測
	18年	19年				20年				21年				22年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
不足	3.5	4.0	3.3	6.7	2.1	2.2	4.5	4.2	1.6	2.3	2.3	2.4	2.4	4.1		
適正	91.6	86.1	88.0	87.2	89.4	87.6	85.8	86.7	93.5	82.8	86.8	91.1	93.5	91.1		
過剰	4.9	9.9	8.7	6.0	8.5	10.2	9.7	9.2	4.9	14.8	10.9	6.5	4.1	4.9		
D.I.	-1.4	-5.9	-5.3	0.7	-6.3	-8.0	-5.2	-5.0	-3.3	-12.5	-8.5	-4.1	-1.6	-0.8		



- (1) 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、21年7~9月期は▲9.0となり、前期比7.4ポイントの大幅改善となっている。先行きについても、在庫水準は改善見込となっており、22年1~3月期▲5.1の予測となっている。□
- (2) 21年7~9月期の業種別では、木材業▲60.0、高岡銅器▲50.0と過剰感の高いポイントとなった。前期に高い過剰感であった電子部品製造は大幅改善となっている。プラスチック、木工建具もやや改善となっている。□

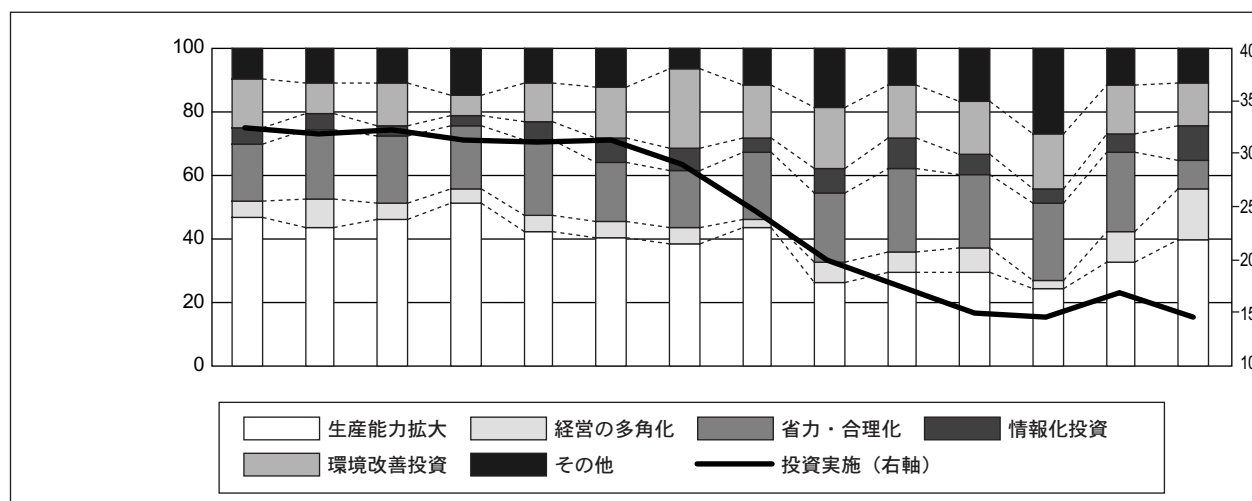
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	(%)														見込	予測
	18年	19年				20年				21年				22年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
投資実施	32.4	31.8	32.2	31.4	30.9	31.1	28.8	24.4	19.8	17.3	14.8	14.4	16.7	14.4		
投資せず	67.6	68.2	67.8	68.6	69.1	68.8	71.2	75.6	80.2	82.7	85.2	85.6	83.3	85.6		

設備投資の目的（実施先について）

	(%)													
生産能力拡大	46.6	43.8	46.2	51.6	42.6	40.4	38.7	43.5	26.6	29.5	29.2	24.4	32.7	40.0
経営の多角化	5.3	8.5	5.4	4.1	4.9	5.3	4.7	2.4	6.3	6.6	8.3	2.2	9.6	15.6
省力・合理化	18.0	22.3	20.8	19.7	23.8	18.4	17.9	21.2	21.9	26.2	22.9	24.4	25.0	8.9
情報化投資	5.3	4.6	3.1	3.3	5.7	7.9	7.5	4.7	7.8	9.8	6.3	4.4	5.8	11.1
環境改善投資	15.0	10.0	13.8	6.6	12.3	15.8	24.5	16.5	18.8	16.4	16.7	17.8	15.4	13.3
その他	9.8	10.8	10.8	14.8	10.7	12.3	6.6	11.8	18.8	11.5	16.7	26.7	11.5	11.1

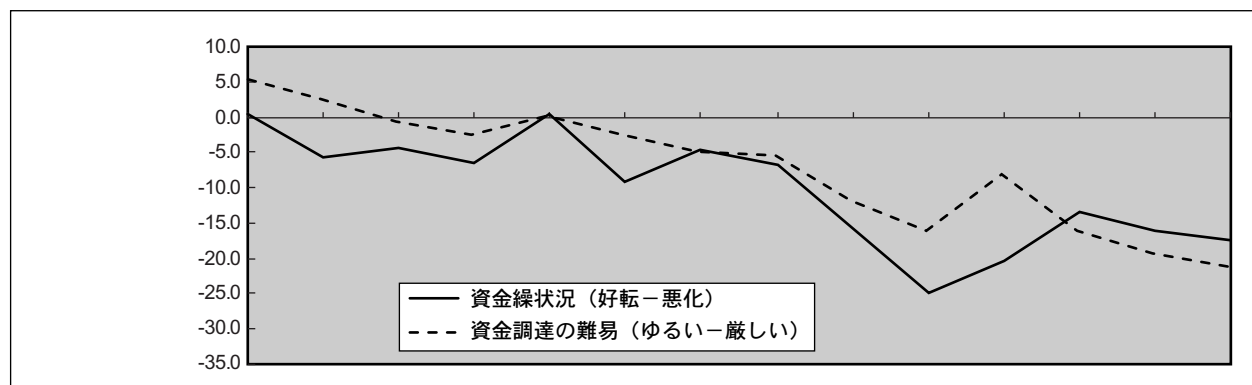


- (1) 21年7~9月に設備投資を実施した企業は全産業の14.4%と、0.4ポイント低下した。先行きについては、10~12月期やや増加見込であるが、1~3月期は横ばい予想である。製造業、非製造業とも、設備投資企業は14%台となっている。21年7~9月に設備投資を実施した業種は、電子部品製造46.7%、宿泊業27.3%が高いポイントとなった。
- (2) 先行き設備投資を予定している業種でポイントが高いのは、10~12月期では電子部品製造、医薬品製造となっている。22年1~3月期でも同じ業種が設備予定となっている。設備の目的別では、生産販売能力拡大、省力合理化、環境改善の順となっている。先行きについても、同様の目的となっている。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

期別 種別	（%）														見込	予測	
	18年				19年				20年				21年				22年
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月			
好転	11.0	8.1	6.8	5.9	10.4	7.4	8.5	6.0	4.4	5.0	6.2	7.7	6.5	4.9			
変わらず	78.4	78.1	82.0	81.7	79.6	76.0	78.4	81.0	75.5	65.0	67.3	71.0	71.0	72.7			
悪化	10.5	13.8	11.3	12.4	9.9	16.7	13.2	12.9	20.1	30.0	26.5	21.3	22.6	22.4			
D.I.	0.5	-5.7	-4.5	-6.4	0.5	-9.3	-4.7	-6.9	-15.7	-25.0	-20.4	-13.5	-16.1	-17.5			



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

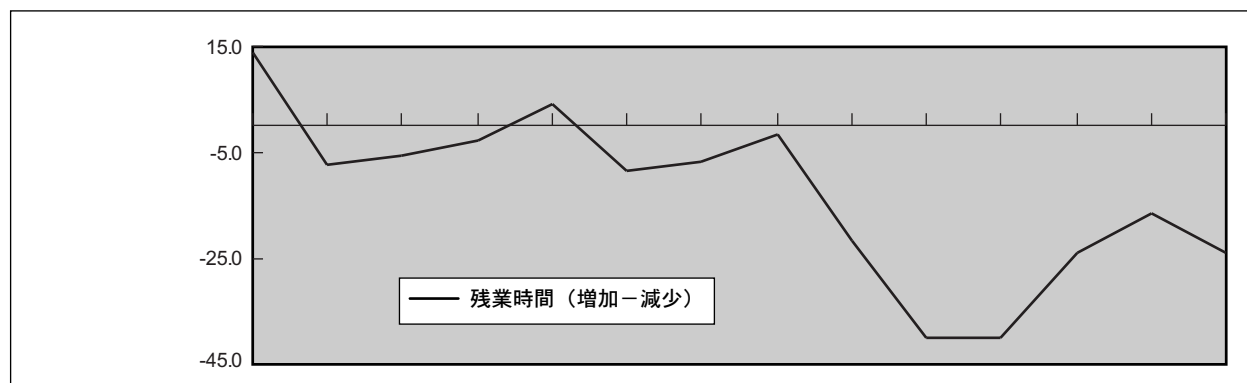
期別 種別	（%）														見込	予測	
	18年				19年				20年				21年				22年
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月			
ゆるい	13.8	13.6	11.6	10.6	10.4	12.2	7.9	7.5	5.9	4.4	5.9	5.1	4.8	4.2			
厳しくない	77.8	75.0	76.1	76.0	79.3	72.8	79.0	79.3	75.9	74.9	79.9	73.3	70.7	70.1			
厳しい	8.5	11.4	12.3	13.4	10.4	15.0	13.1	13.2	18.1	20.7	14.2	21.5	24.4	25.7			
D.I.	5.3	2.2	-0.8	-2.8	0.0	-2.8	-5.2	-5.7	-12.2	-16.3	-8.3	-16.4	-19.6	-21.5			

- (1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、前期比6.9ポイント改善され▲13.5となった。先行きについては、▲16.1とポイントとやや悪化の見込であった。資金繰りは、改善しているが先行きはまた悪化ポイントが高くなる予想となっている。
- (2) 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、▲16.4と前期比8.1ポイント悪化している。先行きについては、また、悪化見込となっており、まだ、厳しい状況とかがわれる。業種別では、機械工具販売、電子部品製造、自動車販売、プラスチックがゆるいとの回答となった。不動産、宿泊業は厳しいとの回答が高いポイントとなっている。□

VIII. 労務事情

残業時間

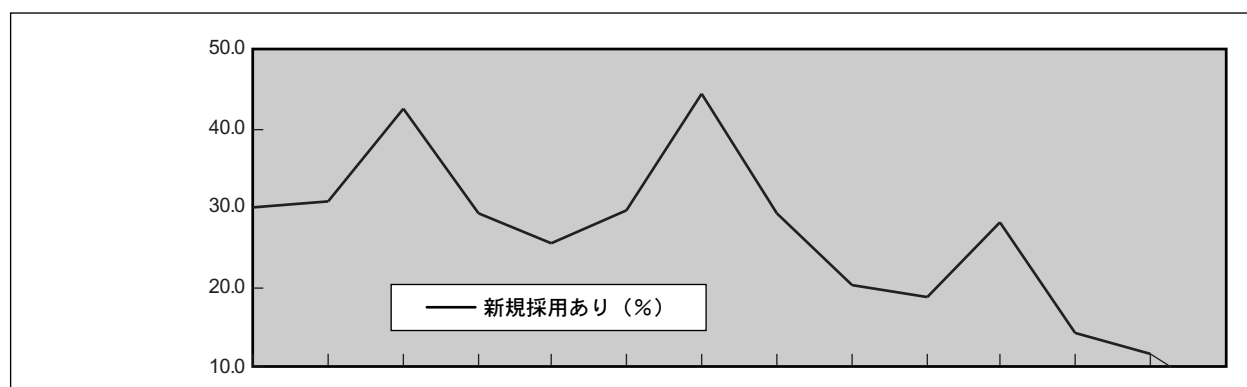
期別 種別	(%)														見込	予測
	18年	19年				20年				21年				22年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
増加	22.5	15.6	14.0	15.1	18.7	14.3	12.4	17.6	10.0	6.5	4.3	11.3	7.6	5.5		
横ばい	68.7	61.3	66.6	67.2	67.0	63.1	68.4	63.4	58.5	47.4	51.6	53.6	68.6	64.8		
減少	8.8	23.1	19.5	17.7	14.4	22.5	19.2	19.0	31.6	46.1	44.1	35.1	23.8	29.7		
D.I.	13.7	-7.5	-5.5	-2.5	4.3	-8.2	-6.8	-1.4	-21.6	-39.6	-39.8	-23.7	-16.2	-24.1		



- (1) 残業時間D.Iは7~9月期▲23.7となり、前期比16.1ポイント増加となった。残業時間は増加傾向となっている。先行きについても横ばいとのポイントが増加し、減少とのポイントは減ってきている。業種別では、製造業、非製造業とも減少との回答が前期比減少し、残業は増加している。電子部品製造では、D.I.がプラスとなり、増加の回答が高いポイントとなった。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

期別 種別	(%)														見込	予測
	18年	19年				20年				21年				22年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
全産業	29.9	30.6	42.5	29.2	25.6	29.7	44.5	29.3	20.1	18.6	28.1	14.0	11.5	5.4		
(うち製造業)	29.9	28.1	41.6	25.4	27.7	30.9	43.2	30.6	18.0	15.0	22.7	10.0	10.7	3.0		
(うち非製造業)	30.0	32.7	43.3	32.5	23.7	28.7	45.7	28.1	22.0	21.5	32.8	17.4	12.1	7.3		

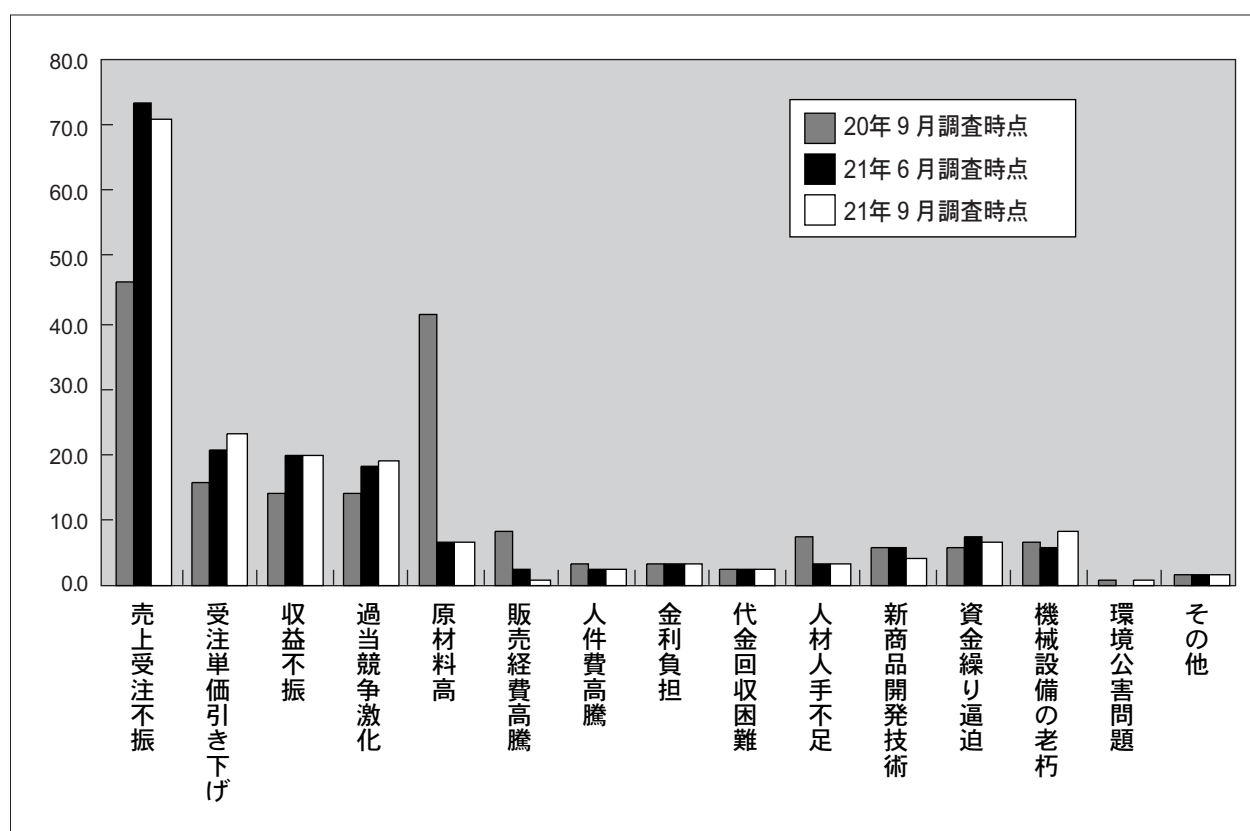


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業について7~9月の採用は全産業で前期比減少となった。前年同期に比べても採用実績は大幅に減少している。先行きについても、減少予想となっている。□

IX. 当面の経営上の問題点

□ (%:複数回答あり)

	20年9月 (前年)	21年6月 (前回)	21年9月 (今回)	21年9月 (今回)		前回比増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	46.4	73.5	70.8	(72.5)	(69.4)	-2.7
受注単価引き下げ	15.8	20.6	23.1	(26.1)	(20.6)	2.5
収益不振	14.0	20.0	20.2	(19.0)	(21.2)	0.2
過当競争激化	14.0	18.5	18.9	(16.2)	(21.2)	0.4
原材料高	41.5	6.5	6.7	(8.5)	(5.3)	0.2
販売経費高騰	8.0	2.8	1.0	(0.0)	(1.8)	-1.8
人件費高騰	3.2	2.5	2.2	(1.4)	(2.9)	-0.3
金利負担	2.9	3.7	2.9	(2.1)	(3.5)	-0.8
代金回収困難	2.6	2.2	2.6	(1.4)	(3.5)	0.4
人材人手不足	7.4	3.4	3.2	(2.8)	(3.5)	-0.2
新商品開発技術	5.7	5.8	4.5	(5.6)	(3.5)	-1.3
資金繰り逼迫	5.4	7.4	6.7	(6.3)	(7.1)	-0.7
機械設備の老朽	6.3	5.5	8.3	(4.9)	(11.2)	2.8
環境公害問題	0.6	0.3	1.0	(1.4)	(0.6)	0.7
その他	2.0	1.5	1.3	(1.4)	(1.2)	-0.2



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振70.8%(前期比▲2.8ポイント)、②受注単価引下げ23.1%(前期比+2.5ポイント)③収益不振20.2(前期比+0.2)の順になっている。
- (2) 今回調査でも、前期と同じ回答が上位となっている。機械設備の老朽を問題とするポイントが2.8ポイント増加している。
- (3) 木材業、アルミ製品、機械工具販売が売上受注不振との回答が特に高いポイントとなっている。窯業土石、木工建具の受注単価引下げも高いポイントである。医療福祉では人件費高騰、人材人手不足があがっている。